

厚労省とKHJ役員懇談 (厚労省・12月5日)



厚労省・社会・援護局をKHJの役員が訪問。福岡大会の礼と今後の取り組みについて懇談を行った。懇談に先立ち、日野課長補佐の案内で岡田局長、古都審議官、藤原課長に挨拶した。

「新たな生活困窮者支援制度の創設」について
生活保護法改正案、生活困窮者自立支援法案の改正が、12月4日に可決、12月6日に成立した。新制度の必須事業として、「自立相談支援事業」(福祉事務所自治体直営または、NPO等への委託も可能)が掲げられた。これは、訪問支援

きこもり支援について説明が行われました。この説明の中で、平成26年度には約9割の自治体でセンターが設置されるとの見込みが報告されました。また、日野氏はひきこもり支援における家族の役割の重要性を強調され、親の会と各自治体センターとの連携について言及されました。

講演では、「若者のやる気を引き出す認知行動療法」というタイトルで、筆者がCRAFや行動活性化療法について実践報告を行いました。CRAFには多くの人が関心を持ってくださっていましたが、認知行動療法にも興味を持ってくださる方がいたことが筆者にとっては大きな収穫でした。

実践報告シンポジウムでは、川崎市、横浜市、仙台市、和歌山県における報告がなされました。各報告を伺い、家族支援においては家族自身への支援とひきこもり本人の変化という2つのポイントがあり、家族支援がうまく機能しているところはこの二つのポイントをうまく抑えているという感想を持ちました。

KHJ親の会としては各地方自治体のセンターと連携を深めていけるよう、組織的な交流の機会を作っていくことが望ましいと考えます。

旅立ち

全引連ニュース
NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)代表 池田 佳世
第72号 発行日 平成26年1月5日 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4
Tel 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 http://www.khj-h.com
Facebook : http://www.facebook.com/khj.ho / Twitter : http://twitter.com/hikikomori_khj

平成25年12月16日、神戸国際会議センターハウスにおいて、ひきこもり地域支援センター連絡協議会が平成25年第2回研究協議会が開

池田理事長 新年の挨拶

13年の活動と新年の抱負

催されました。42の都道府県政令指定都市から参加があり、ひきこもり地域支援センターが設置されている自治体のほとんどが参加していました。

また、それに加えて、これからセンターを設置しようとしている自治体からの参加もあり、この協議会が地方自治体においてひきこ

ウイックあいち(中小企業センター)で、11月2日、前後の懇親会にはじまり、午前は支部長研鑽会議、午後はひきこもりや、発達障害の講師のお話と当事者達の回復の実例を、多くの元気になった青年達のいる名古屋オレンジの会が主催します。

息子を埋めて一家心中した孤立ひきこもり家族のいたましい事件が報道されました。私は、日本の財産である若い青年達の命を一人も失うことなくこの問題解決に官民協同で声をかけあい実践していきたいと思えます。今や貧困は、お金がないからではなく、関係がとれないからで、関係の貧困の時代が確実に来ています。関係をたつてしまったひきこもりの子供のためにも、まず、親同士の関係を復活し、

外へ声をあげ連携づくりをしていきませんか。空を飛ぶ鳥も渡りの時はみんな協力しあって、力の強い鳥が先頭に立ち、力の弱い若い鳥を中に入れ風をとらえて、何キロも何十キロも零下のところヒマラヤの山の上を飛ぶ、くの字の映像を観ました。子供を大人達の中に入れたオットセイや、子供を足の中に抱えたペンギン達は外敵や寒さを群れの力ではねかえしている姿を見て、生き残るすべを動物に

ひきこもり地域支援センター連絡協議会に参加して
徳島大学大学院SAS研究部 境 泉洋

ひきこもり地域支援センター連絡協議会に参加して

徳島大学大学院SAS研究部 境 泉洋

催されました。42の都道府県政令指定都市から参加があり、ひきこもり地域支援センターが設置されている自治体のほとんどが参加していました。

また、それに加えて、これからセンターを設置しようとしている自治体からの参加もあり、この協議会が地方自治体においてひきこ

ウイックあいち(中小企業センター)で、11月2日、前後の懇親会にはじまり、午前は支部長研鑽会議、午後はひきこもりや、発達障害の講師のお話と当事者達の回復の実例を、多くの元気になった青年達のいる名古屋オレンジの会が主催します。

息子を埋めて一家心中した孤立ひきこもり家族のいたましい事件が報道されました。私は、日本の財産である若い青年達の命を一人も失うことなくこの問題解決に官民協同で声をかけあい実践していきたいと思えます。今や貧困は、お金がないからではなく、関係がとれないからで、関係の貧困の時代が確実に来ています。関係をたつてしまったひきこもりの子供のためにも、まず、親同士の関係を復活し、

外へ声をあげ連携づくりをしていきませんか。空を飛ぶ鳥も渡りの時はみんな協力しあって、力の強い鳥が先頭に立ち、力の弱い若い鳥を中に入れ風をとらえて、何キロも何十キロも零下のところヒマラヤの山の上を飛ぶ、くの字の映像を観ました。子供を大人達の中に入れたオットセイや、子供を足の中に抱えたペンギン達は外敵や寒さを群れの力ではねかえしている姿を見て、生き残るすべを動物に

沖縄にKHJ 40番目の支部発足



池田 佳世理事長・中垣内正和副理事長

12月14日沖縄国際大学において、沖縄県支部発足の宣言が満場の拍手のなかでなされた。ここまで苦節10年近い経緯があり、台風による延期もあったが、ひきこもりを抱えた親、当事者、支援者、そして本部の熱意がそれらに打ち勝ったことが示された。

当日は中垣内、池田会長の講演からシンポジウムへとつながった。親の一つどいで本音を話して自分が自由になったらわが子3人も自由になった」という発言には正直鳥肌が立った。「親の回復10ステップ」そのものなのである。沖縄国際大学の知名先生を世話役にして親のミーティングが行われており、沖縄サポステとサポトセンターゆめさとKHJ親の会が大同団結して、40番目のKHJ親の会支部が発足した瞬間であった。あきらめないで根気強く取り組むことの大切さも示された。池田会長は翌々日沖縄県庁を訪れて「ひきこもり支援センター」の創設と親の会への支援を訴えられた。新しい流れは、沖縄支部発足という「大きな輪」を創り、本流になろうとしている。(中垣内)

月例会に参加して気を楽しんだり情報交換しませんか

- 問合せ NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会) ☎03-5944-5250
- 関東ブロック**
NPO法人桑の会リーラ(市川乙允) ☎&FAX 03-5944-5730
KHJ西東京「萌の会」(井手 宏) ☎090-8452-8810 ☎&FAX 03-5397-5372
NPO法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会(田口ゆりえ) ☎&FAX 048-651-7353 ☎080-3176-6674
NPO法人 KHJ 千葉県の花会(藤江幹子) ☎090-8491-0971
KHJ神奈川「虹の会」(安田賢二) ☎047-4767-4171
NPO法人 KHJ 栃木県「ベリー会」(齋藤三枝子) ☎090-1846-4004 FAX 028-663-5022
グループコスモス(瓜生 武) ☎&FAX 03-3728-4488 ☎080-3255-4161
KHJ静岡県「いっぶく会」(上杉博美) ☎090-5036-2552 ☎&FAX 054-245-0766
NPO法人てくてく(山本洋見) ☎053-442-6365 ☎090-1416-6224
 - 東海ブロック**
NPO法人東海なでしこの会(大脇正徳) ☎090-4195-2674 ☎&FAX 052-882-1119
NPO法人名古屋オレンジの会(鈴木美登里) ☎&FAX052-459-5116
 - 北陸ブロック**
NPO法人KHJにいがた「秋穂の会」(三膳克弥) ☎090-4017-2889 ☎&FAX 025-382-6912
KHJ北陸会(事務局) ☎&FAX 076-252-4856
とやま大地の会(山岡和夫) ☎090-3768-1733 FAX 076-429-5886
 - 近畿ブロック**
NPO法人京都オレンジの会(稲垣 緑) ☎&FAX075-752-0289
NPO法人大阪虹の会(前川 実) ☎&FAX 072-265-2021
 - NPO法人KHJ「つばさの会大阪」(大塚 洋) ☎090-4308-4259 ☎072-844-2423**
KHJ情報センターふきのとう姫路(榎橋行雄) ☎&FAX 079-224-5259 ☎090-5046-7134"
 - 中国ブロック**
KHJ岡山きびの会(中西茂明) ☎&FAX 086-955-2857
KHJ広島もみじの会(岡本 弘) ☎090-7375-6659 ☎&FAX082-924-2922"
☎090-7375-6659 ☎&FAX082-924-2922
KHJ山口県「きらら会」(上田十太) ☎&FAX 0837-22-5495
 - 四国ブロック**
NPO法人KHJ香川県オーリーブの会(川井富枝) ☎&FAX087-843-9877 ☎090-4332-3288
KHJ徳島県「つばめの会」(高橋浩南) ☎090-7620-4625 ☎&FAX0883-24-0507
KHJ高知県親の会「やいり鳥」の会(坂本勲) ☎090-3184-8109 FAX 088-862-0740
KHJ愛媛県こまどりの会(武田邦寛) ☎&FAX089-923-3367 ☎090-7578-4214
 - 九州・沖縄**
KHJ福岡県「楠の会」(吉村文恵) ☎090-8222-7403 ☎092-731-3091
FAX 092-864-7188
NPO法人熊本ランチ(武井敬敏) ☎096-322-3548 FAX096-322-3787
KHJみやざき「楠の会」(植田美紀子) ☎090-9603-8780 ☎&FAX0985-53-2666
KHJ鹿児島県「楠の会」(福留唯一) ☎090-7156-6241 ☎&FAX0993-38-1421
NPO法人KHJ大分県「大分ステップの会」(松本太郎) ☎090-1163-8582
沖縄親の会(上江田繁寿江) ☎098-989-4224 FAX 098-989-4225

大成功宇奈月ピアサポーター研修

「情熱・充実・出会い・パワー・希望」



日時	内容	時間	講師
11月9日(土)	自己紹介ワークでウォーミングアップ	40分	池田・藤江
	「ひきこもりの理解と対応」	90分	半田
	「訪問支援実践講座①心RP(家族&本人)」	90分	石川
11月10日(日)	「見立ての実践～自分相手ケアできる～」	90分	中垣内
	「当事者の気持ちを読み解く～ケース検討～」	90分	高橋
	「家族の葛藤場面への対応&ロールプレイ」	60分	堀
	「親の体験から語るピアサポーターの実践」	90分	三浦
	「訪問支援実践講座②心RP(家族&本人)」	90分	鈴木
11月11日(月)	「ひきこもり本人と家族への傾聴訓練」	90分	池田・藤江
	●当座会		
	「地域連携とコーディネート力」	40分	鈴木
	「自分を語る力～自己調整ワーク～」	40分	池田・藤江
	「全体のおまとめ～研修を振り返って～」	90分	池田・藤江
	解散		
	合計時間	900分(15時間)	



11月9日、11日、2泊3日で第1回ピアサポーター研修会が紅葉すむ富山県宇奈月温泉・宇奈月自立塾(教育研究所)で開催されました。旅立ち71号3頁参照

参加者は、24支部から50名(男性27名、女性27名)、13名+支援者1名、女性23名+母親19名+本人3名+支援者1名)でした。(応募は60名以上あり、今回は当事者と家族に限定しました)

この研修会は、平成25年度厚生労働省社会福祉推進事業としてKHJに委託されたものです。



11月9日午後から、別表のスケジュールで9人の講師による合計15時間の研修が行われました。

50人全員が感想
19時間の研修が終わって、

本人 親の皆さんと自分の親がダブって泣けました。若者は16人が感想を述べました。「課題がこれ程多いのに戸惑っている」「90分の講義は夜まで長く続き、病の身ではハードなスケジュールでした」など戸惑いも有りましたが、大勢は肯定的「ピアサポの役割は...お茶のみ友達になること」(東京)、「合宿や雑談ですご

く情熱・パッションを感じました。そういう事が一番重要で今後を生かして行きます(愛知)。「内容的にはすごく充実していて、今後を生かして行きたい」(千葉)。「全国からこられた方とお会い出来て一番の収穫でした(岡山)。「この研修で得たことを地元に戻り頑張るって行動していきたい」(石川)。

など実践に生かす感想が多く寄せられました。中には「研修に参加して親の皆さんと自分の親がダブって泣いてくれたので、こういうことをして欲しい」というのかと思いきや泣けそうになりました。香川でも優しいピアサポをやっている方(香川)と、親への素直な感謝と取り組みの決意もありました。

父親 宇奈月の、川のせせらぎ、うなずく流れ
13人の父親の感想は「皆さんにお会い出来て非常に良かった。今後1〜2年後におなじメンバーでの研修会を無料で(富山)、「ビックリしたのは皆さんの熱意です。全国にこんなに凄い人達がいる事が分かったのが一番の収穫です」(大分)。「今後を生かして行きたい事は、自分一人では抱え込まない。ネットワーク・仲間づくりを重点にやっていきたい」と(愛知)、など全員が肯定的でした。中には、中垣内先生の「奥山のせせらぎうなずく流れ」を皮肉りに「こんな一言を披露」宇奈月の、川のせせらぎ、うなずく流れ、この新しい流れを閉じさせないように、実践のいい事例をまた持ち寄りますよ(広島)もありました。

母親一番の収穫は息子と来られた。19人の母親の感想は、「残りの人生を当事者の親としてピアサポーターで頑張りたい」(香川)、「とても勉強させてくれた三日間でした。全国の方と知り合いになって、いろんな話し合いが出来て、その中で学んだ事は私に取ってすごい宝です」(福岡)。「貴方のことが大好きだよ」との若い方の言葉が心に響きました。夫の事も少し理解出来る様になりました(石川)など、大きな成果を挙げた研修で、今後の活動が楽しみです。



で、12時過ぎまで、交流はすごいなと思いました。帰って青年と一緒に振り返ってやりたい(香川)、「とても勉強させられた三日間でした。全国の方と知り合いになって、いろんな話し合いが出来て、その中で学んだ事は私に取ってすごい宝です」(福岡)。「貴方のことが大好きだよ」との若い方の言葉が心に響きました。夫の事も少し理解出来る様になりました(石川)など、大きな成果を挙げた研修で、今後の活動が楽しみです。

ビックリ。一番の収穫は息子と来られたこと。私にとっては夢のような話で、本当に良かったです(栃木)。「印象的だったのはシートをかぶり当事者になった事が一番衝撃的の事でした。ドキドキしっぱなしで、当事者の気持ちを考えて、どきどきだけ大事かを感じました。これからも相手の気持ちを大切にすることを一番大事にしたいです」(栃木)、「和気あいあい

カレー・パーティーでピアサポ
12月の理事会時、大分でのピアサポーターについて皆で話していた時、ふと思いついて、私の長男が自分でスパイス類を調合してカレーライスを作るのが好きで、色々工夫していることを話し、「二度食べに来て」と誘ったところ、皆さん関心を持ち、早速12月20日、5人で「Y君の手づくりカレーを食べる会」をすることに決まりました。

私は日頃の会員間の交流はまだ不足していると感じていたのですが、ただ単純に、自宅で、長男特製のカレーを会員さんに味わってもらおうところからピアサポーターの実践を始めたと思ったのです。当日は彼の一番好きなチキンカレーを作りました。食べた方から「サッパリした辛さだけどコクがあるね、その秘



「ピアサポーター」(英語: Peer supporter)とは、「同じような立場の人によるサポート」同じような課題に直面する同士がたがいに支えあ(と)といった意味です。「ピアサポーター」とはサポーターする人です。

第3回 ピアサポーター事業委員会開催

12月5日、第三回ピアサポーター事業委員会が、厚労省の日野課長補佐にもご出席いただき、午後2時から5時30分まで東京の大塚で開催されました。

①大成功の「宇奈月ピアサポーター養成研修」

11月9〜11日、宇奈月で行われたピアサポーター研修は、参加者50名(男性27名、女性23名)、本人の参加が16人(男13、女3)でした。研修後の参加者全員に今回の研修について6項目のアンケートを行いました。

それによると、「研修時間の長さについて」は「ちょうど良い52%、やや長い26%。」「研修の回数について」は「ちょうど良い30%、やや多い56%。」「研修内容の適切性について」は「適切54%、

やや適切44%。」「研修の理解度について」は「ややできた72%、できた18%。」「研修の関心度について」は「持った80%、ややもった16%。」「実践の役立ち度について」は「役立ち68%、やや役立ち30%となっています。研修最終日の参加者の感想(詳細は別記)も参照。

研修後のレポートからの今回の研修の優れた特徴は

① 家族(7割)と若者(3割)がともに参加し、対話しながらワークショップを行ったこと。
② 講師陣にご自身が不登校やひきこもりの経験があり、かつ、支援を実践している方々がいたこと。他の講師陣もすべてそれぞれ専門性を持った優れた実践者であったこと。
③ 家族(親)として、わが子のひきこもりに向き合い、各地で、親(家族)の会を中心となって運営し、かつ、既に支援者となっている参加者が多くいたこと。(富山)

研修後要望、意見に
応える取り組み
研修後アンケートやレポートにより、次の様な要望、意見がありました。

「定期的に継続研修やスーパバイス等を実施してほしい」「境先生のCRAFITをもっと丁寧に学びたい」「訪問経験者の最初の頃の取り組み、ピアサポーターとして訪問時、実際の会話の具体例を活字で、今後、取り組むための枠組みが欲しい」「アウトリーチで、うまくいかなかった場合の失敗事例なども聴きたかった」「一人で抱え込まないためのマニュアルがほしい」など、こうした要望や意見に出来るだけ応えられる取り組みを行っていきます。

②ピアサポーター活動のルールや支援体制
派遣活動内容の確認、アウトリーチの基本ルールは家庭会のノウハウを基に次年度制作に向けて準備、ピアサポーター活動支援体制、活動費(謝



③「フォローアップ研修実施」(7参照)
④ピアサポーター認定を3月初旬に行います。
ピアサポーター正式認定名簿登録は3月初旬に書類(登録申込書、誓約書、活動証の交付など)を郵送します。登録期間は2年間。毎年、活動報告書を提出してもらう。継続不可能となった方は、名簿から削除するが、再度、研修を受ければ再登録可能とします。

⑤「来年度の研修計画」(8参照)
⑥宇奈月ピアサポ研修DVDの有効大活用を
問もなく研修の全講座のDVDが完成します。各支部へ完全版とテキスト2部を配布します。支部での学習会や自治体との連携資料などに活用して下さい。

⑦フォローアップ研修
来年2月9日東京で開催親の会でのピアサポーター

金、交通費等について検討してほままとる。
③「フォローアップ研修実施」(7参照)
④ピアサポーター認定を3月初旬に行います。
ピアサポーター正式認定名簿登録は3月初旬に書類(登録申込書、誓約書、活動証の交付など)を郵送します。登録期間は2年間。毎年、活動報告書を提出してもらう。継続不可能となった方は、名簿から削除するが、再度、研修を受ければ再登録可能とします。

⑤「来年度の研修計画」(8参照)
⑥宇奈月ピアサポ研修DVDの有効大活用を
問もなく研修の全講座のDVDが完成します。各支部へ完全版とテキスト2部を配布します。支部での学習会や自治体との連携資料などに活用して下さい。

⑦フォローアップ研修
来年2月9日東京で開催親の会でのピアサポーター

活動してきた結果かと思えます。有難うございます。家族会としては、課題は多く、まだまだ取り組まねばならないことが沢山ありますが、今回の受賞は、このような私達の活動を力づけてくれました。今後はまた新たな気持ちで課題に取り組んで行こうと思っています。

内閣府の「チャイルド・ユースサポーター章」を栃木ベリリー会が受賞しました。KHJ支部の受賞は、なでしこ(H22)、京都オレンジ(H23)、青森アップル(H24)に続いての受賞です。栃木ベリリー会・斎藤三枝子さんの喜びの声を「このたび宇都宮市の推薦を受けて、内閣府のチャイルド・ユースサポーター章を受賞し表彰状と盾を頂きました。本部関係者の皆様や関係各位のご指導のもと11年間地道に

活動してきた結果かと思えます。有難うございます。家族会としては、課題は多く、まだまだ取り組まねばならないことが沢山ありますが、今回の受賞は、このような私達の活動を力づけてくれました。今後はまた新たな気持ちで課題に取り組んで行こうと思っています。



不登校・ひきこもりの方も安心
教育理念「1/1の教育」
全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。
生徒第一...だから
第一学院高等学校
TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

不登校・ひきこもりの方も安心
教育理念「1/1の教育」
全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。
生徒第一...だから
生徒1人1人と向き合う「1/1の教育」で生徒の自信と意欲を養います。
通信制高校(広域通信・単位制)
第一学院高等学校
4月よりウィザース高等学校・ウィザース ナビ高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました
TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp
全国76キャンパス(平成24年3月現在)

「ピアサポーター」(英語: Peer supporter)とは、「同じような立場の人によるサポート」同じような課題に直面する同士がたがいに支えあ(と)といった意味です。「ピアサポーター」とはサポーターする人です。